

○第4回研修会 (オンライン開催)

■ 研修1 授業づくり研修 (講話)

講話 「JSL 教科と日本語の統合学習の授業づくりについて」

【講師】小川郁子先生 (東京都立一橋高校)

今回の研修では、教科と日本語の統合学習の実際の授業づくりをテーマに小川先生にお話頂きました。まず、子どもたちの「日本語教室に来て勉強すると、クラスの人日本語が分かる、みんなと話ができる。授業が分かる、勉強ができる」という気持ちを引き出すのが教科と日本語の統合学習である、というお話がありました。そして、日本語の勉強を教科の学習につなげることで、子どもたちが目的意識をもって学習に取り組めるということについてのお話がありました。次に、日本語初期指導の段階から教科につながる学習をするために、①材料が教科で日本語学習→②テーマは教科で日本語学習→③教科と日本語を同時に学習→④やさしい日本語で教科学習→⑤日本語で授業のような順序で言語学習に重点を置く学習から意味・内容に重点を置く学習へと進めていくアプローチについてのご説明がありました。そして、教科と日本語の統合がうまくできる単元を見極め、リライト教材や視覚情報のなどで理解支援をしていくことについて、実践を交えてお話頂きました。

■ 研修2 授業づくりグループ研修

今回は、第2回目の授業づくり研修でした。今回は、グループで事前に作成して送り合った指導案について、各自が説明し、指導案の内容や支援の方法等について検討しました。少人数でしっかりと話し合うことができました。

■ 研修3 DLA研修

「DLA【話す】について、グループ内で疑問点を出し合い、解決策をグループ内で話し合うとともに、DLAの評価の活用方法について考えること」と「DLA【読む】についての実践報告を聞くことで、新たな読みの教材を作成する際の参考にする」ことを目的として、DLAの研修を行いました。「読む」については、岡田美貴先生(照葉小学校)から「読む」教材づくりの実践報告をして頂きました。

感想

〈研修1〉

- ・日本語と教科の統合学習について、沢山の実践を教えていただき、大変勉強になりました。
- ・教科の統合指導について、同じ視野から話をさせていただいて、共感できる部分や、安心、自信につながる部分がたくさんありました。

〈研修2〉

- ・自分一人では判断できないことを皆さんに聞いていただいてよかったです。少しずつアイデアを煮詰めてまた改善したいです。

〈研修3〉

- ・教材づくりの際に教科とのつながりを意識して、国語の指導要領を参考にされているところや、子どもの発言を引き出しやすくするような発問の工夫をされているところ等、とても勉強になりました。